

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

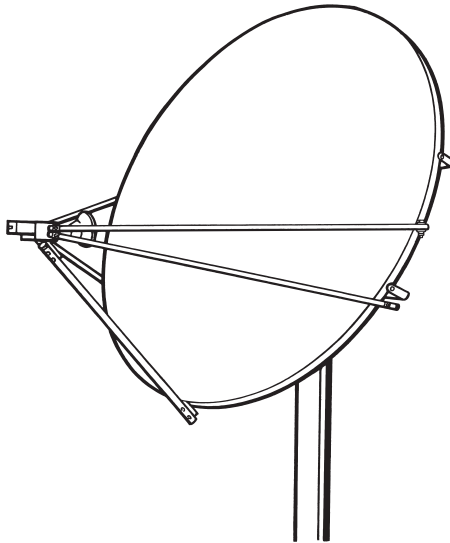


DIGITAL

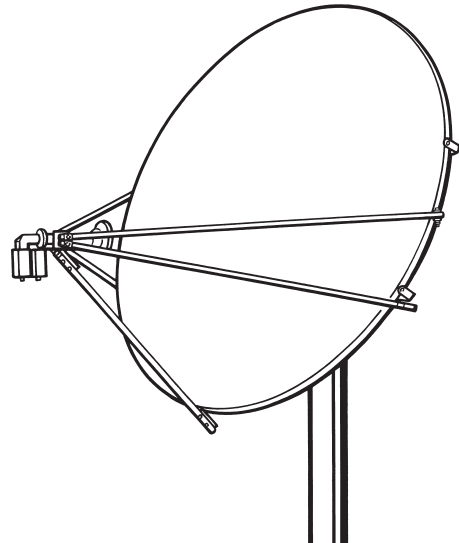
120形CSアンテナ

耐風速90m/s仕様

CSA-1201



片偏波給電部仕様



両偏波給電部仕様

(注) 給電部とマウントは別売です。
この取扱説明書は、マウントDSA-343 (別売) を含めて説明しています。

製品の特長

- 給電部やそのアームがいったい電波の陰を作らず、ひととき優れた効率を発揮するオフセット形を採用しています。
- 給電部 (別売品) に極めて低雑音のCSコンバータ (別売品) を一体化し、鮮明な映像を再現します。
- パラボラ反射鏡は、高い利得が得られる大口徑 (短径120cm) の反射鏡で、内部に高効率特殊カーボン (東レ製「トレカ」) の反射層をもつ強化樹脂製です。
- 独自の無段階微調整機構の採用で、仰角、方位角の調整がスムーズに行えます。
- 細部にわたる合理化設計で、組み立てが簡単です。
- 風速90m/sに耐える強固な設計で、耐久性も優れています。

安全上のご注意



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。



⊘記号の場合は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。



- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルには電流が流れますので、同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものをのせたり、加熱しないでください。火災や感電の原因となります。



- アンテナコンバータのケースを開けたり、分解して内部に触れないでください。感電やけがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店もしくは工事店にご依頼ください。



- アンテナの表面に弊社指定以外のシール類を貼ったり、塗装したりしないでください。太陽光の反射熱で熱せられてアンテナコンバータが焼けたり、変形したりして、故障の原因となることがあります。（製品に使用しているシールおよび塗料は安全性と耐久性に問題がないことを検証して製品化しています。）



- 雷が鳴り出したら、アンテナや同軸ケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。



- 万一、このアンテナを落としたり、アンテナコンバータを破損した場合は、接続しているチューナの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると感電やけがの原因となります。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因となることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。



警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 送配電線、ネオンサイン、電車の架線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。また、電話線などの近くに設置しないでください。アンテナが倒れた場合、断線の原因となります。



- 高所など足場の悪い場所で設置作業をする際は、十分注意してください。落ちたり、すべったりして、けがの原因となります。



- アンテナの部品や工具類を高いところから落とさないでください。けがの原因となります。



- 風の強い日や雨、雪、雷などの天候が悪い日は、危険ですから設置工事をしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



- 不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- 人や車両の通行の妨げになる場所には設置しないでください。人がぶつかったり、車両が接触してけがや破損の原因となります。



- 強度の弱い場所や地盤の弱い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- アンテナを煙突の付近や高温になる場所に設置しないでください。火災や感電の原因となります。



- 組み立てや取り付けのネジやボルトは、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



- アンテナコンバータに接続する同軸ケーブルに電流が流れますので、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しないでください。火災や感電の原因となります。



- アンテナコンバータは表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



- アンテナや取付装置のお手入れや点検は、風雨、雷、雪など天候の悪い日は、危険ですので作業を行わないでください。落ちたりして、けがの原因となります。



注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- このアンテナは、強風の影響を受けやすいので、アンテナの取り付けには、マスト、ポールおよび取付金具類はアンテナ径により指定された十分強度のあるものを使用し、堅固に設置してください。



- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあるところがあります。管理組合、管理事務所、自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。



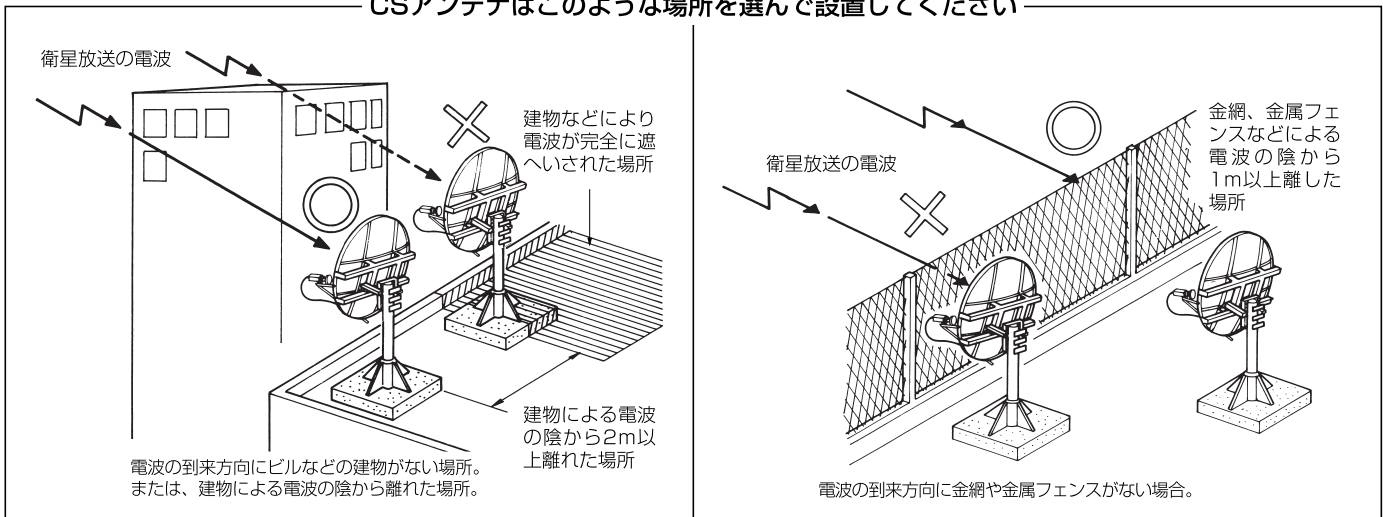
お取扱いの前に

- 組み立て、取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行なってください。
- 強風の時や、雨や雪など天候の悪いときは危険ですから、取付作業は行わないでください。
- CSチューナは、CSデジタル放送対応のCSチューナを使用してください。
- CSアンテナを落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。
- CSコンバータは、絶対に分解したりお客様自身での修理や改造をしないでください。分解や改造などによる防水性や性能維持の保証はできません。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは絶対に回さないでください。
- 地上や屋上などに設置する場合、人の通行の妨げにならない場所を選び、転倒しないよう強固に設置してください。
- CSコンバータへの接続は、必ず衛星放送対応のケーブルをご使用ください。
- CSコンバータ用電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後に行なってください。

CSアンテナの設置場所の選び方

- ① CSアンテナは、設置する地域によって仰角、方位角、偏波角が異なります。
- ② 受信方向（仰角、方位角）に、山やビルなど障害物があると受信できません。また、受信方向の極めて近くに障害物がある場合でも受信できないことがありますので、障害物による電波の陰から離れた場所に設置してください。
- ③ 樹木は葉や枝の密集度によって受信レベルに大きく影響します。樹木の生長も考慮して陰にならない場所に設置してください。
- ④ 金網や金属フェンスは受信レベルに大きく影響します。陰にならないよう1m以上離して設置してください。
- ⑤ 住宅地における線条数も少なく細かい電線の場合はあまり影響がありませんが、太い線が密集している送電線や鉄塔の場合は受信レベルに影響することがあります。陰にならない場所を選んで設置してください。
- ⑥ 電車や自動車の往来に近いところは、受信に影響することがあります。できるだけ離れた場所を選んで設置してください。
- ⑦ 設置場所が高所の場合は強風を受けやすくなりますので、できるだけ風が吹き抜けないような場所を選んで設置してください。

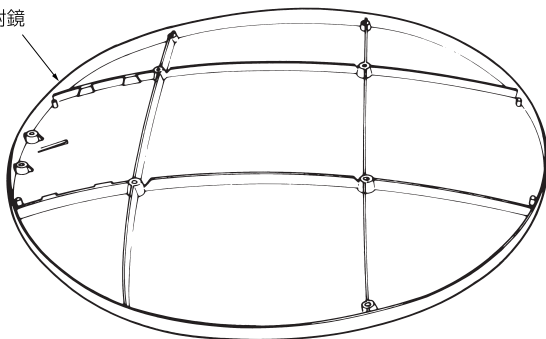
CSアンテナはこのような場所を選んで設置してください



各部の名称

<120形オフセットアンテナ・CSA-1201>

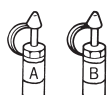
120形反射鏡



120形アーム取付金具（右） 120形アーム取付金具（左） ケーブル固定バンド 2本



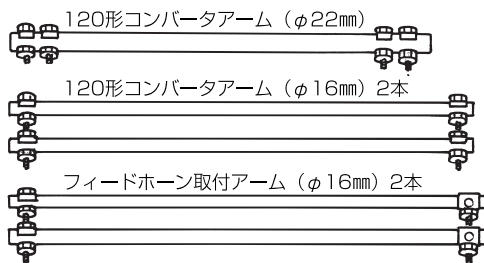
ネジロック 2個



120形アーム取付金具（大）



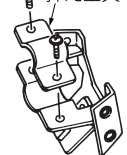
六角ボルト（M8×15）4本



コンバータ取付金具

偏波調整ネジ

押え金具



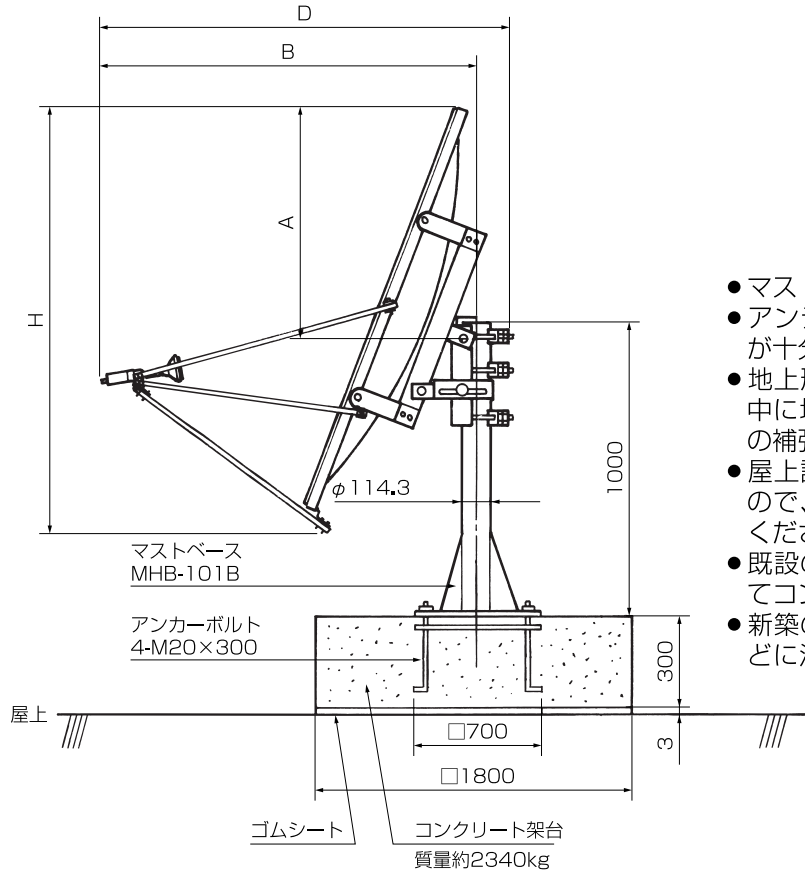
部品名	数量
120形オフセットアンテナ	1セット
120形反射鏡	(1台)
コンバータ取付金具	(1個)
120形アーム取付金具（右）	(1個)
120形アーム取付金具（左）	(1個)
120形アーム取付金具（大）	(1個)
120形コンバータアーム（φ22mm）	(1本)
120形コンバータアーム（φ16mm）	(2本)
フィードホーン取付アーム（φ16mm）	(2本)
六角ボルト M8×15	(4本)
ネジロックA（1303）	1個
ネジロックB（1305）	1個
ケーブル固定バンド	2本

マストベースの建て方（120形CSアンテナ用マストベースの設置のご説明）

- 120形CSアンテナは、従来のアンテナに比べてその構造が風圧を受けやすい形状になっており、なおかつ大口径（短径120cmの楕円形）のため、120形CSアンテナを取り付けるマストベースは、台風や季節風などの強風に留意し、安全性と安定性に十分注意して強固に設置してください。

〈設置例〉

- (注) ● 図は仰角40°のときの寸法です。
● 図は片偏波給電部仕様のもので、両偏波給電部仕様も寸法などほぼ同じです。



● アンテナ部寸法 (mm)

H(高さ)	W(幅)	D(奥行)	A	B
1410	1225	1265	755	1142

● マストベース

品番	寸法(mm)	質量(kg)
MHB-101B	幅700×長さ700×高さ1,000	80

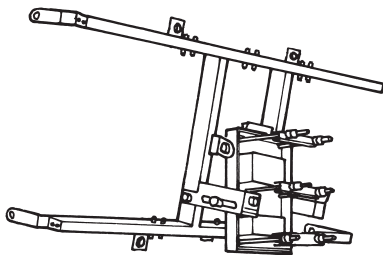
- マストは地面に対して垂直に建ててください。
- アンテナの取り付けは、マストのコンクリート基礎が十分固まった後に行なってください。
- 地上形マスト用アンカを使用しないで、マストを地中に埋める場合は、基礎部にコンクリート根巻などの補強を施してください。
- 屋上設置では地上より風圧荷重がさらに増大しますので、設置場所には十分な強風に対する配慮をしてください。
- 既設の建物の場合は、屋上にゴムシートなどを介してコンクリート基礎を設置してください。
- 新築の建物の場合、マストベース用アンカを鉄筋などに溶接しますと、さらに、強固な設置ができます。

構成（この製品は下表の組合せでご使用ください。）

〈120形固定マウントDSA-343〉（別売）

- 120形固定マウントDSA-343（別売）は耐風速90m/s仕様の120形アンテナ専用のマウントです。必ずこのマウントをご使用ください。

※ 120形アンテナは、マスト中間取り付けはできません。



オフセットアンテナ取付用ボルト (M12×20) ・スプリングワッシャ 4セット



オフセットアンテナ取付用ボルト (M8×40) ・平ワッシャ・スプリングワッシャ ハードロックナット 4セット

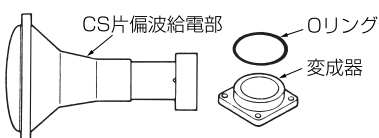


オフセットアンテナ取付用ボルト (M8×40) ・平ワッシャ・スプリングワッシャ 2セット



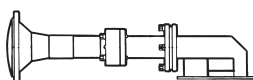
部品名	数量
120形固定マウントDSA-343	1セット
120形固定マウント	(1台)
六角ボルト M12×20	(4本)
スプリングワッシャ (12mm)	(4個)
六角ボルト M8×40	(6本)
平ワッシャ (8mm)	(10個)
スプリングワッシャ (8mm)	(10個)
ハードロックナット (M8)	(4組)

〈CS片偏波給電部CSP-3〉（別売）



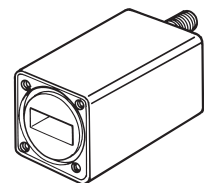
	数量
CS片偏波給電部	1台

〈CS両偏波給電部CSP-4〉（別売）



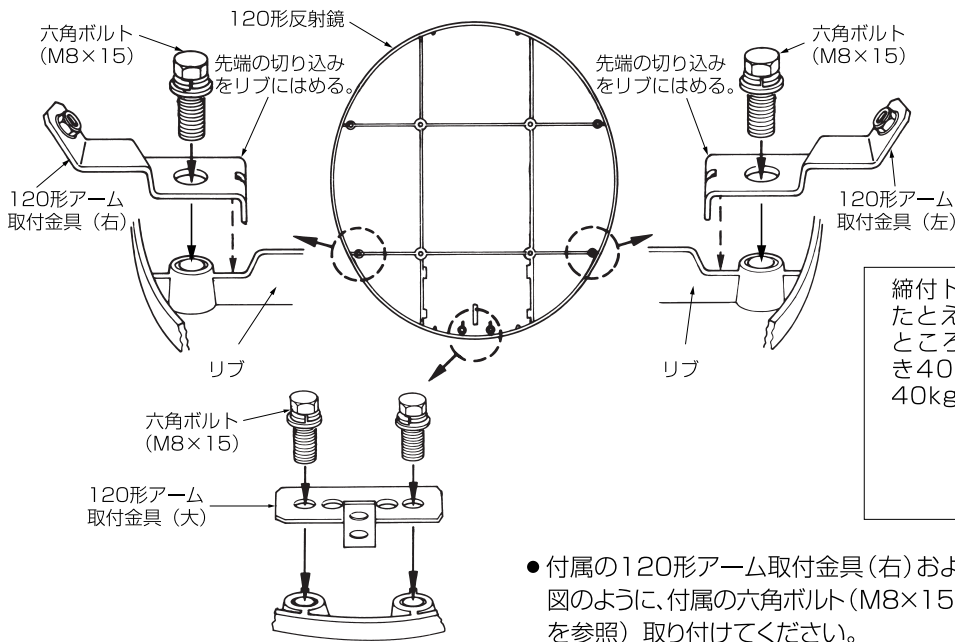
	数量
CS両偏波給電部	1台

〈CSコンバータ・一例〉



システムに合ったDXアンテナ製のCSコンバータをご使用ください。なお、CSコンバータの仕様については、お買い上げの販売店もしくはDXアンテナ製品取扱店にご相談ください。

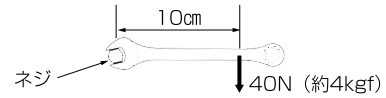
アーム取付金具の取付け



〈ネジの締付トルクの基準〉

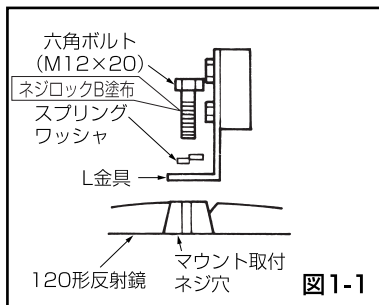
ネジの呼び	最終固定時の最適締付トルク
M6	5~6N・m (49~59kgf・cm)
M8	13~15N・m (128~147kgf・cm)
M12	40~50N・m (392~490kgf・cm)
M16	130~140N・m (1274~1372kgf・cm)

締付トルクとは、ネジを締める力の数値です。たとえば、スパナを用いてネジから10cmのところまで40N（約4kgf）の力を加えたとき $40\text{N} \times 0.1\text{m} = 4\text{N} \cdot \text{m}$ （約40kgf・cm）となります。



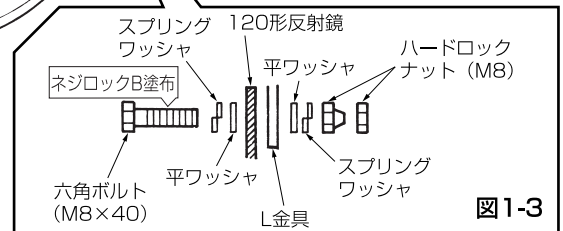
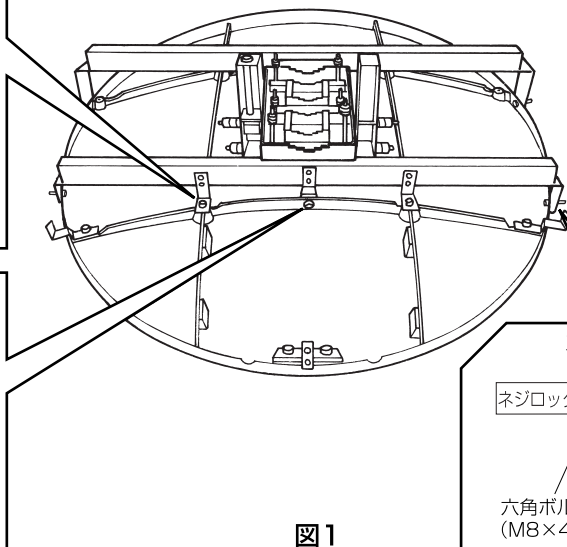
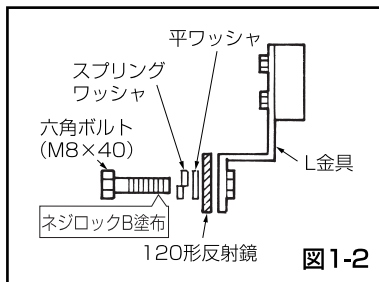
- 付属の120形アーム取付金具（右）および（左）と、120形アーム取付金具（大）を図のように、付属の六角ボルト（M8×15）で強固に（〈ネジの締付トルクの基準〉を参照）取り付けてください。
- 120形アーム取付金具（右）および（左）は、左右逆に取り付けないように注意してください。

マウント部の取付け



120形固定マウントDSA-343は別売です。

注) この項目で使用する六角ボルトM12（4か所）、六角ボルト、ナットM8（6か所）には付属のネジロックBを塗布してください。



- ① 120形反射鏡と、120形固定マウントの上下に注意し、反射鏡とマウントの取付穴が合うようにして取り付けてください。
- ② 反射鏡の上下は、表面の意匠で確認してください。
- ③ 120形固定マウントに付属の2本の六角ボルト（M8×40）とスプリングワッシャ（8mm）、平ワッシャ（8mm）を反射鏡の中心部分のリブ穴と120形固定マウント中心部の反射鏡取付金具のL金具のネジ穴に通して、仮止めしてください。（図1-2）
- ④ 付属の六角ボルト（M8×40）4本とスプリングワッシャ（8mm）、平ワッシャ（8mm）を反射鏡外周リブのマウント取付穴と、120形固定マウントの両サイドの反射鏡取付金具のL金具の穴に通して、スプリングワッシャ（8mm）、平ワッシャ（8mm）、ハードロックナット（M8）で仮止めしてください。（図1-3）
- ⑤ 付属の4本の六角ボルト、（M12×20）とスプリングワッシャ（12mm）を反射鏡取付金具のL金具の穴を通して、反射鏡のマウント取付ネジ穴へ入れ、仮止めしてください。（図1-1）
- ⑥ 仮止めした順序に、10か所を強固に（〈ネジの締付トルクの基準〉を参照）締め付け、そのとき**ボルト・ナットは付属のネジロックB（1305）を塗布してください。**

マウント部のマストベースとの取付け

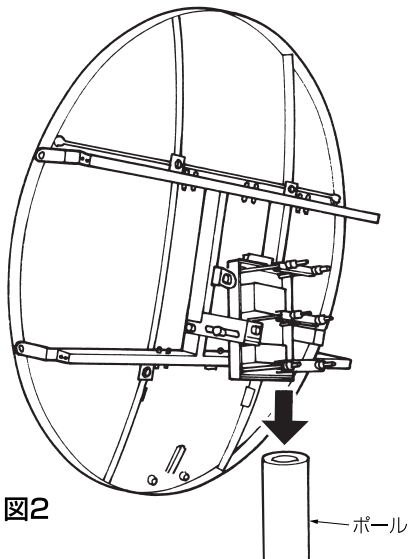


図2

- ①ポール押え金具（上中下3個）とマウント本体の間にポールが入るようハードロックナット（M12）を十分緩めてください。
- ②ポールストッパがポールの先端に当たるまで120形固定マウントをポールに差し込み、ハードロックナット（M12）を左右均等に締めて仮止めしてください。

※ポールが垂直に立っていることを確かめた後に、マウント部を取り付けてください。

コンバータアームの取付け

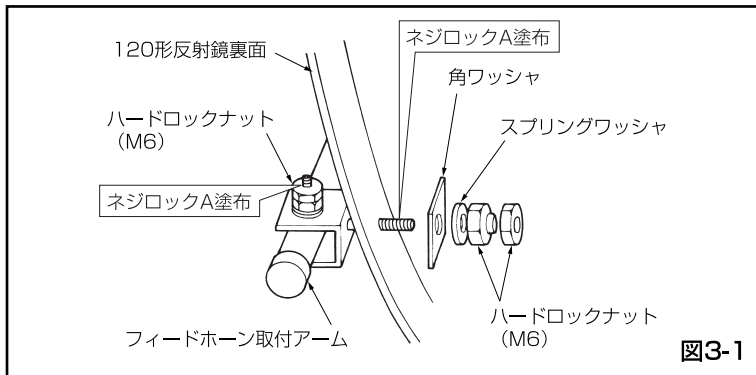


図3-1

- ①120形コンバータアーム（ $\phi 22\text{mm}$ ）を、120形反射鏡に取り付けた120形アーム取付金具（大）に、アームの先端についている2本の六角ボルト（M6）で締め付けてください。
- ②120形コンバータアーム（ $\phi 16\text{mm}$ ）2本を、それぞれ120形反射鏡に取り付けた120形アーム取付金具（右）および（左）に、アームの先端についている六角ボルト（M6）で締め付け、仮止めしてください。
- ③フィードホーン取付アーム（ $\phi 16\text{mm}$ ）2本を、図3-1のようにアームに取り付けられているボルトを120形反射鏡の穴に通し、ハードロックナット（M6）で締め付け、仮止めしてください。

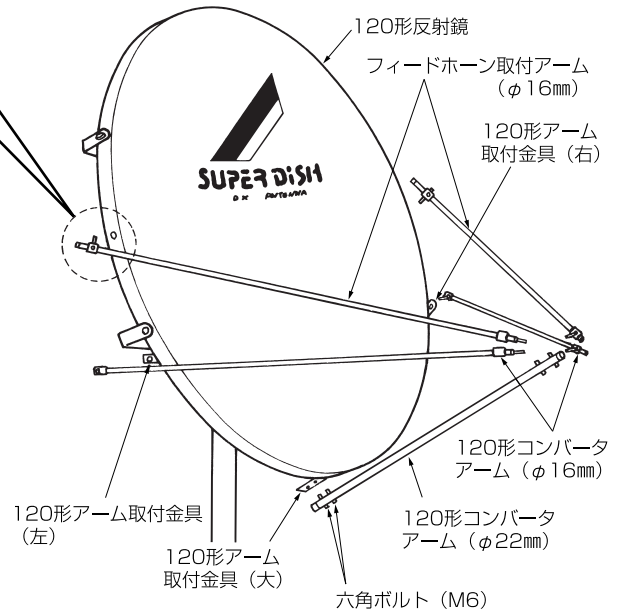
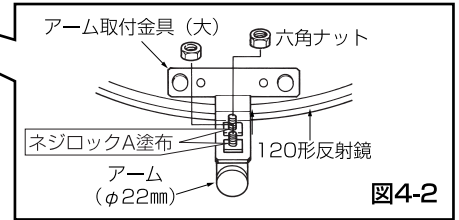
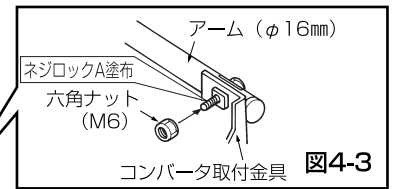
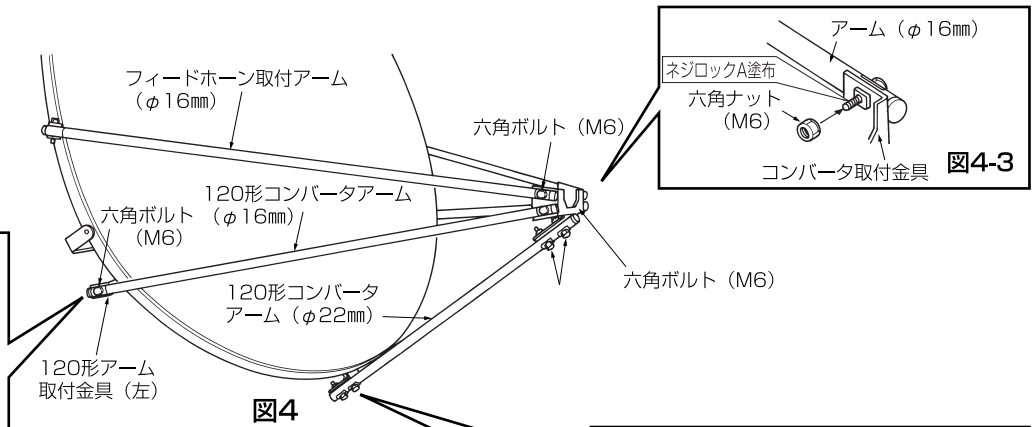
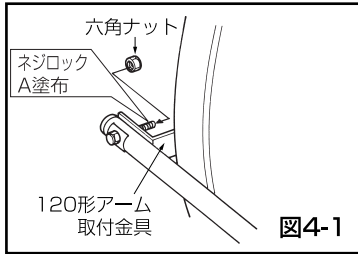


図3

コンバータ取付金具の取付け

注) この項目で使用する六角ボルト、ナットM6(12か所)には付属のネジロックAを塗布してください。

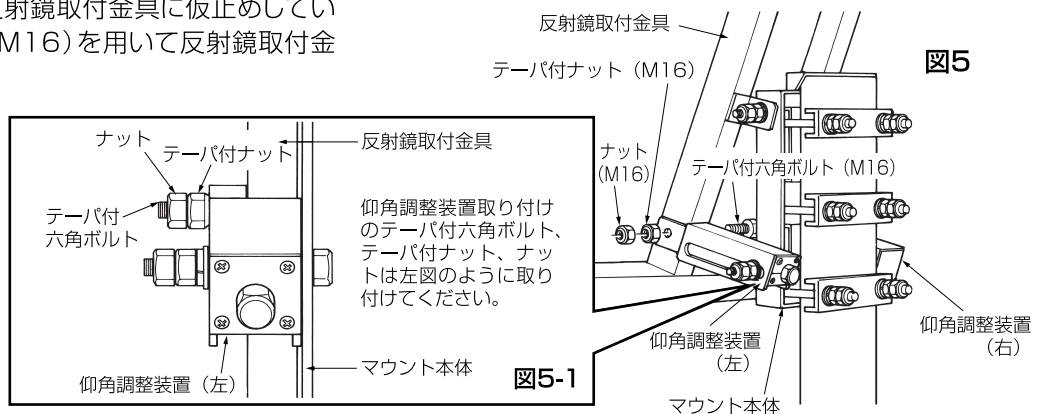


- ① コンバータ取付金具を図4のように120形コンバータアーム (φ16mm)、120形コンバータアーム (φ22mm) およびフィードホーン取付アーム (φ16mm) についている六角ボルト (M6) で強固に締め付けてください。そのとき六角ナット (M6) をボルトにはめ合わせてWナットとし、また、ボルト・ナットには付属のネジロックA (1303) を塗布してください。
- ② 120形コンバータアーム (φ22mm) の反射鏡側の120形アーム取付金具 (大) の六角ボルト (M8) を強固に締め付けてください。そのとき、六角ナット (M6) をボルトにはめ合わせてWナットとし、また、ボルト・ナットは付属のネジロックA (1303) を塗布してください。
- ③ 120形コンバータアーム (φ16mm) の反射鏡側の120形アーム取付金具 (右) および (左) の六角ボルト (M6) を強固に締め付けてください。そのとき、六角ナット (M6) をボルトにはめ合わせてWナットとし、また、ボルト・ナットには付属のネジロックA (1303) を塗布してください。
- ④ フィードホーン取付アーム (φ16mm) の反射鏡側のハードロックナット (M6) を強固に締め付けてください。また、ボルト・ナットには付属のネジロックA (1303) を塗布してください。

● ネジ・ボルトの締め付トルクは5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉を参照してください。

仰角調整装置の取付け

- 図5のようにマウント本体に取り付けられている仰角調整装置 (左) および (右) を反射鏡取付金具に仮止めしていたボルト (M16)・ナット (M16) を用いて反射鏡取付金具に取り付けます。



CS給電部の取付けおよび偏波の設定

- アンテナ部に付属のコンバータ取付金具の押え金具を一度取りはずし、下図のように給電部に取り付けて120形コンバータアーム(φ16mm)および120形コンバータアーム(φ22mm)、フィードホーン取付アーム(φ16mm)についている六角ボルトで強固に締め付けてください。
- 120形コンバータアーム(φ16mm)およびフィードホーン取付アーム(φ16mm)の反射鏡側の120形アーム取付金具(右)および(左)の六角ボルトを強固に締め付けてください。

〈CS片偏波給電部をご使用の場合〉

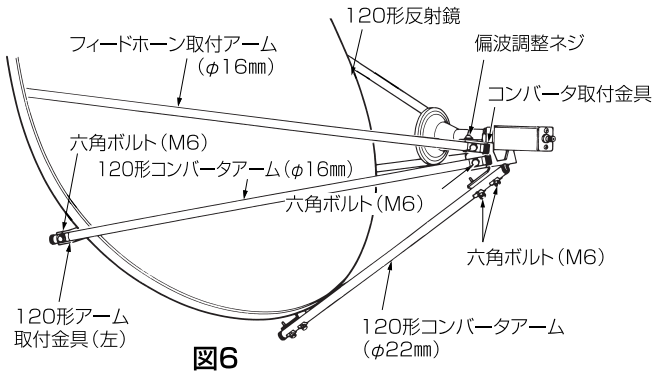


図6

〈CS両偏波給電部をご使用の場合〉

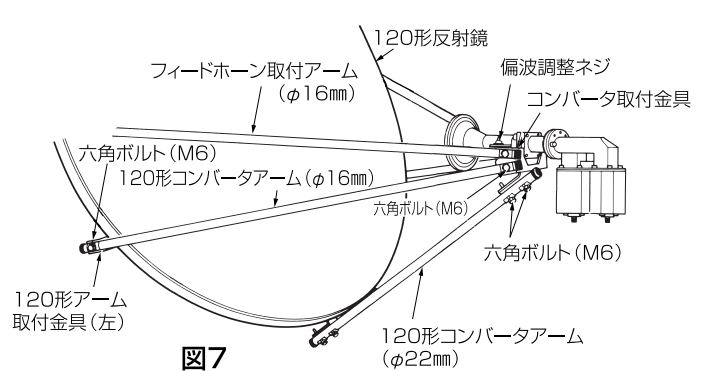


図7

※給電部の \square \square シールにより、偏波調整ネジを少し緩めてCSコンバータを回転させて受信偏波に合わせます。

- ・ 垂直偏波を受信する場合 \square シールのある面を下にしてください。
- ・ 水平偏波を受信する場合 \square シールのある面を下にしてください。

※図のようにCSコンバータを取り付けてください。その場合、左の出力端子から水平偏波の信号が、右の出力端子から垂直偏波の信号が取り出せます。

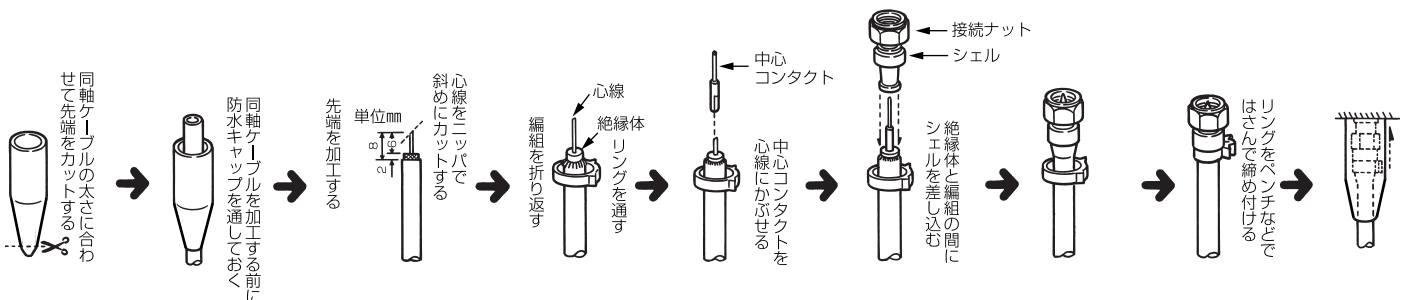
- ネジ・ボルトの締め付トルクは5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉を参照してください。

接栓への同軸ケーブルのつなぎかた

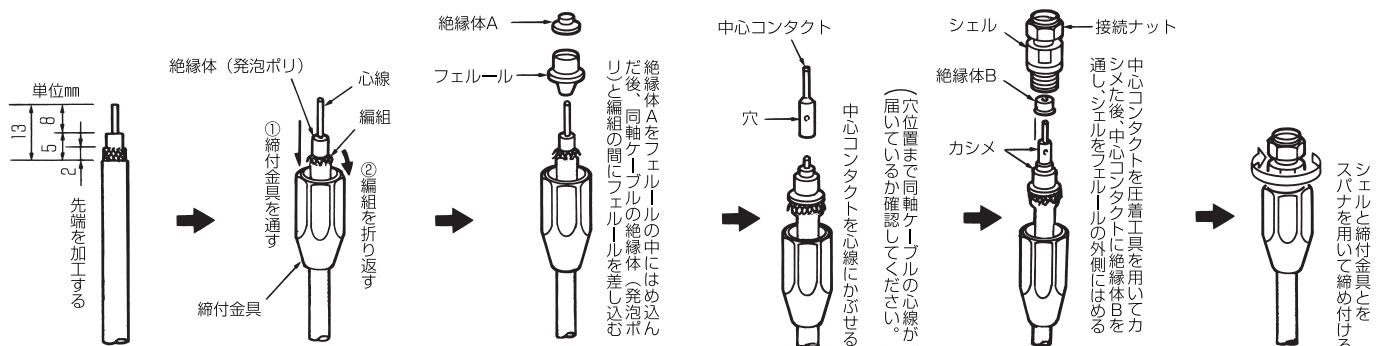
図のように別売りのCSコンバータに付属しているF形接栓に同軸ケーブルをつないでください。このとき、あらかじめ同軸ケーブルに防水キャップを通しておいてください。F形接栓は5C-FVC、S-5C-FBなどの同軸ケーブルに使用できますが、ほかの同軸ケーブルを使用される場合はその同軸ケーブルに合ったF形接栓(別売)を、この図を参考に取付けてください。

- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。
- 同軸ケーブルは、CSコンバータから取り出される1GHz帯の電波を効率よく伝送するため、高品質の5C-FVS、S-5C-FBなどのご使用をおすすめします。

〈F-5SN接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法〉(5C-FVS, S-5C-FB用)



〈防水形F形接栓F-5SCN接栓(別売)への同軸ケーブルの接続方法〉(5C-FVS, S-5C-FB用)



出力端子への接栓の接続と防水処理

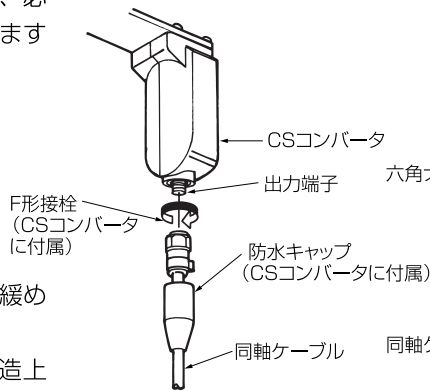
- 図のようにCSコンバータの出力端子に接栓を接続し、スパナなどでしっかりと締め付けてください。このとき、必要以上に締め付けると出力端子を破損する恐れがありますので2N・mを越えるトルクで締めないでください。

締め付トルク
1~2N・m

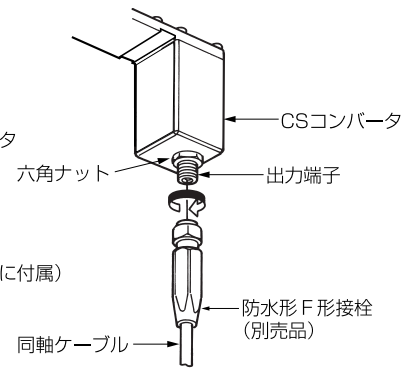
(ご注意)

出力端子の六角ナットは絶対に緩めないでください。緩めると雨水が入り故障の原因になります。
DXアンテナ製以外のCSコンバータを使用すると構造上取付かない場合があります。

＜F形接栓の接続＞



＜防水形F形接栓の接続＞

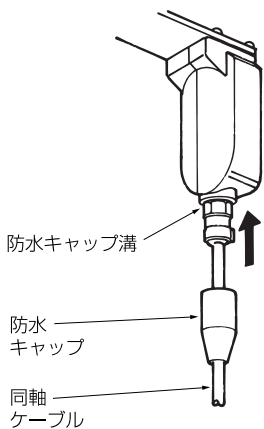


接栓の防水処理

- 出力端子に接続した接栓は、図のように確実に防水処理を施してください。

＜防水キャップ使用のCSコンバータの防水処理＞

同軸ケーブルに通しておいた防水キャップをずらしてCSコンバータの防水キャップ溝に防水キャップを差し込んでください。

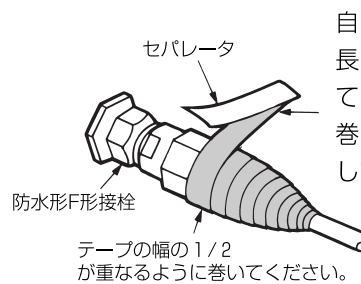


(ご注意)

防水キャップは、CSコンバータの防水キャップ溝の奥まで確実に差し込んでください。
内部に雨水など入ると故障の原因となります。

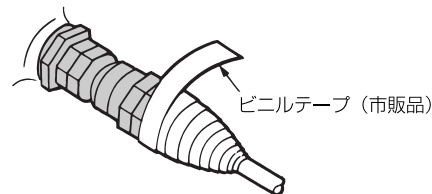
＜防水形F形接栓使用のCSコンバータの防水処理＞

- ① 自己融着テープを巻きつけます。



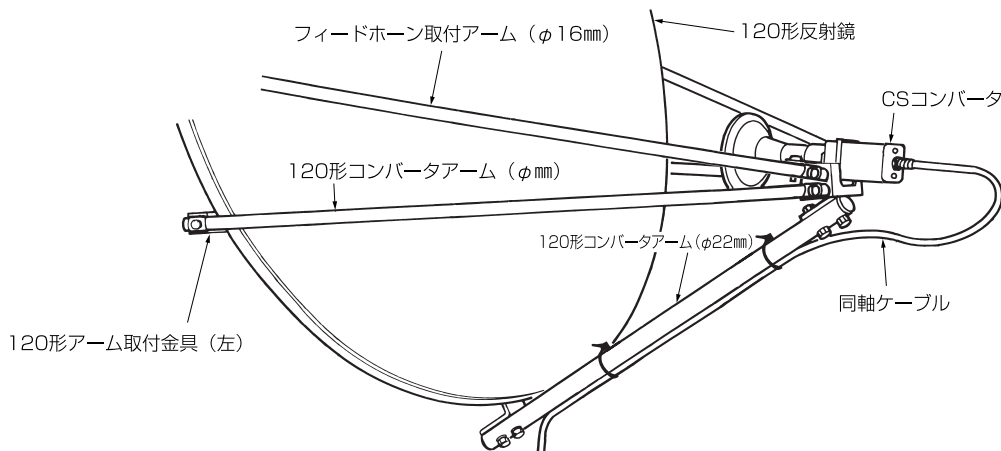
自己融着テープ（市販品）は、長さ1.5倍に引張りながら巻いてください。
巻き終わったら指でおさえて密着してください。

- ② さらにその上にビニルテープ（市販品）を巻きつけます。



同軸ケーブルの固定方法

- 同軸ケーブルは図のように余裕を持って引きまわし、付属のケーブル固定バンド（2本）を用いて、120形コンバータアーム（φ22mm）に固定してください。



CSアンテナの仰角・方位角の設定

〈仰角の設定〉

- 仰角調整装置の仰角調整用六角ボルトの頭部にスパナをかけて回転させ、別表（12ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と回転角」からアンテナ設置地区の仰角になるよう、仰角調整装置の外金具に刻印されている仰角目盛を内金具の端面に合わせて、仰角の設定を行います。
- 正確な仰角調整は次の方位角の設定後、衛星からの電波を受信して行います。

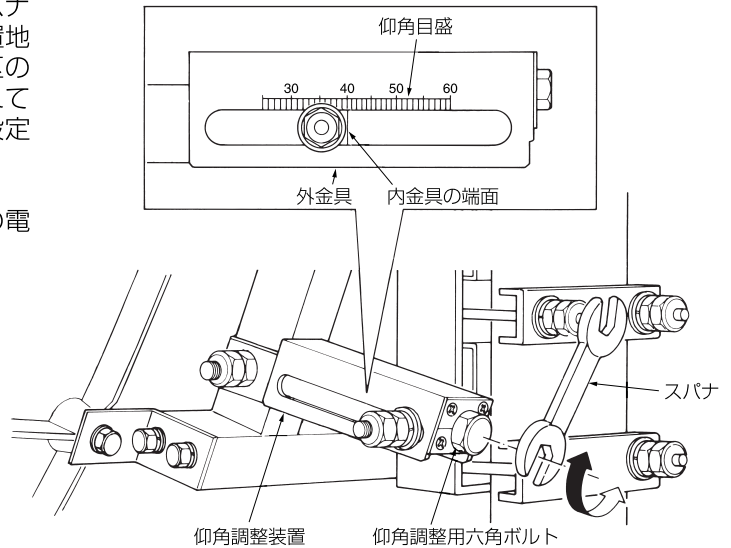


図9

〈方位角の設定〉

- ① ポール押し金具の方位角固定ボルトを緩めます。（6か所）
 - ② 別表（12ページ）の「主な設置地区の仰角と方位角と回転角」から、アンテナ設置場所のおよその方位角を求めてください。
 - ③ 市販の方位磁石などでおよその方向を確認し、反射鏡を回転させ方位角固定ボルトを締めて仮止めしてください。（ビルの屋上など方位磁石の近くに磁性体がある場合は、方位磁石が正確に働かない場合があります。この場合は方位磁石を移動させながら正確な方位角を求めてください。）
- ※最終的に、正確な仰角、方位角の調整は、衛星からの電波を受信して行います。

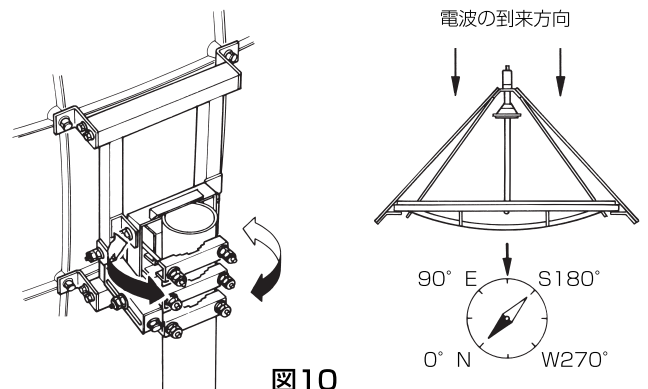
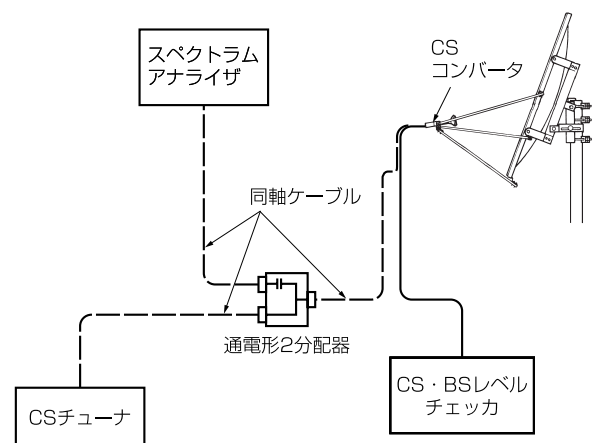


図10

仰角、方位角、偏波角の正確な調整

CSアンテナの方向調整は衛星からの電波を受信して行います。CSアンテナの正確な方向調整はCS・BSレベルチェッカおよびスペクトラムアナライザなどを用いる方法について説明します。

- ① CSアンテナをCS・BSレベルチェッカに接続するか、または通電形2分配器などを用いて、スペクトラムアナライザ、CSチューナなどに接続してください。
- ② CSコンバータ電源（DC15V）は通電形2分配器などを介して同軸ケーブルに重畳してCS・BSレベルチェッカなどからCSコンバータへ供給します。



仰角、方位角、偏波角の正確な調整（つづき）

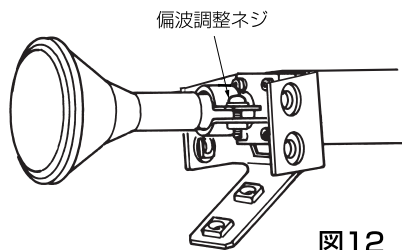
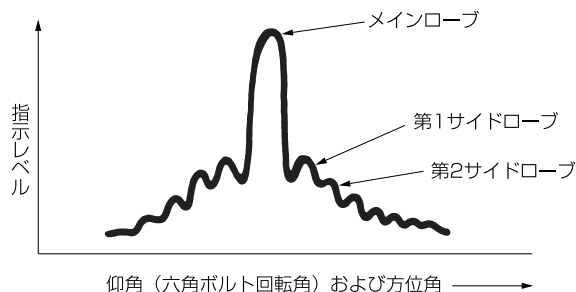


図12

（仰角および方位角/指示レベル）特性



- ③CSコンバータの回転により、受信偏波が受信できることを確認してください。（12ページ参照）
- ④仰角調整は、仰角調整用六角ボルトを回してスペクトラムアナライザまたはCSチェッカの指示レベルが最大になるように調整を行います。このとき、サイドローブと間違えないためにこの振れを通り越して、次の指示レベルが大きくなるまで仰角調整用六角ボルトを回して上図のような（仰角および方位角/指示レベル）特性になっていることを確認した後、指示レベルが最大（メインローブ）の仰角に戻します。
- ⑤方位角調整についても仰角調整と同様な指示レベルが最大の方位角に調整します。
- ⑥偏波角調整ネジを緩めて、CSコンバータを少し左右に回転させ、受信レベルを最大にします。
- ⑦仰角、方位角、偏波の調整を数回くり返し、受信レベルを最大にします。
- ⑧次に交差偏波のレベルを確認します。

○CS片偏波給電部をご使用の場合→スペクトラムアナライザまたはCSチェッカのレベルを見ながら、交差偏波のチャンネルのレベルが最小になるようCSコンバータを少し左右に回転させて調整します。

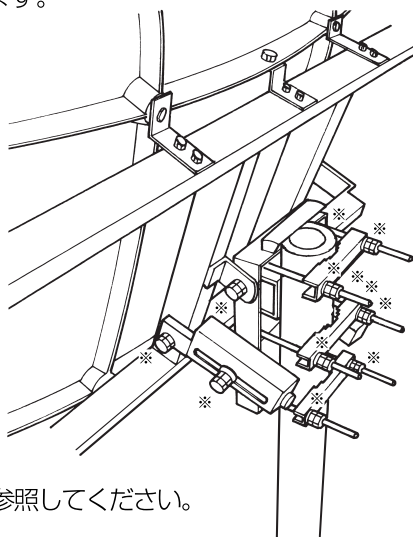
○CS両偏波給電部をご使用の場合→交差偏波のCSコンバータ（例：垂直偏波のCSコンバータで受信した場合は水平偏波のCSコンバータ）のレベルが最小となるようCSコンバータを少し左右に回転させて調整します。

- ⑨この状態で仰角・方位角を受信レベルが最小となるように調整し、受信偏波とのレベル差が25dB以上あることを確認します。

- ⑩偏波調整後、偏波調整ネジを締め付けてください。

- ⑪右図※印のボルト・ナットを全て強固に締め込み仰角・方位角を固定してください。

- ⑫偏波・仰角・方位角を固定した後、ズレのないことをスペクトラムアナライザまたはCSチェッカで再確認してください。



- ネジ・ボルトの締め付トルクは5ページの〈ネジの締め付トルクの基準〉を参照してください。

デジタル衛星放送出力レベル確認方法（スペクトラムアナライザ使用）

- ①スペクトラムアナライザのセンター周波数を測定する信号（1トランスポンダ）の中央に合わせます。

- ②スペクトラムアナライザを次のように設定します。

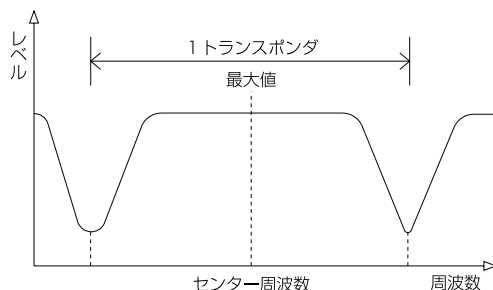
周波数スパン（SPAN） 50MHz
 分解能帯域幅（RBW） 1MHz
 ビデオ帯域幅（VBW） 300Hz

- ③信号の最大レベルをスペクトラムアナライザで測定します。

- ④測定したレベルに補正值（CSデジタル信号 15dB、BS・110度CSデジタル信号 16.3dB）を加えた値が、その信号のレベルとなります。また、分解能帯域幅（RBW）を100kHz、10kHzで測定したときの補正值は右表をご参照ください。

注1）低いレベルのデジタル信号をスペクトラムアナライザで測定する場合には、ノイズの影響などで測定誤差が大きくなります。

注2）スペクトラムアナライザの機種によってわずかに補正值が異なる場合があります。



補正值	CSデジタル (dB)	分解能帯域幅 (RBW)		
		1MHz	100kHz	10kHz
	CSデジタル (dB)	15	25	35
	BS・110度CSデジタル (dB)	16.3	26.3	36.3

RBWを変えたときの値が大きく異なる場合は、誤差が大きいと考えられます。

主な設置地区の仰角と方位角と偏波角

仰角、方位角、偏波角は地域により異なります。同じ場所でも地域により多少異なりますので、この仰角、方位角の表は調整の目安としてご参照ください。

- 仰角…受信点から衛星を見上げた角度 ●方位角…真北から東回りに測った衛星の角度 ●偏波角…受信点から衛星を見た偏波面の傾き

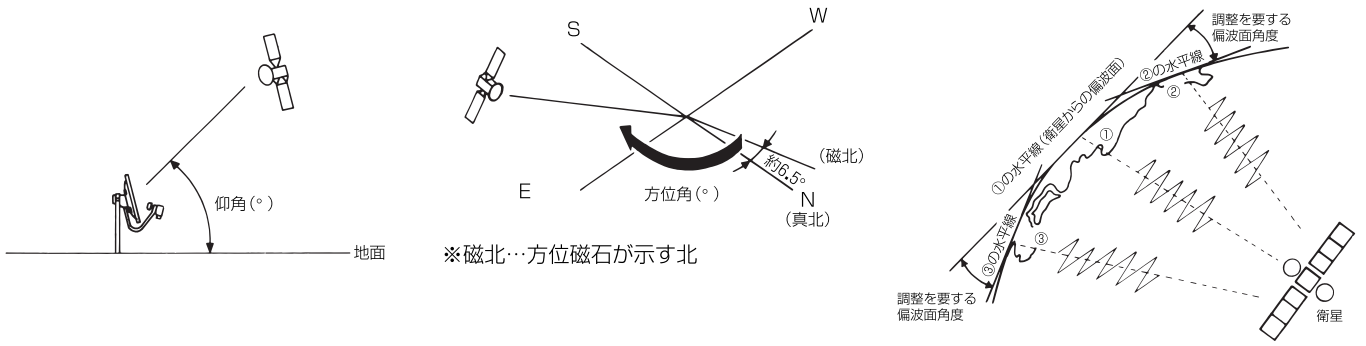


Table with 12 columns for city and 9 columns for elevation, azimuth, and polarization angles for seven different satellite configurations: JCSAT-4号, JCSAT-3号, スーパーパードC号, JCSAT-5号, JCSAT-2号, スーパーパードA号, and スーパーパードB号.

各都市の方位角は真北からの角度です。方位磁石で方位角を求めるときは、表示の角度に約6.5度加えてください。(単位:度)

規格特性

アンテナ径 (cm)	受信周波数 (GHz)	利得 (dB)	耐風速 (m/s)	質量 (kg)
短径 120	12.2~12.75	41.7以上	90 注1)	アンテナ部 26.0 マウント部 21.4 注2)

注1) 耐風速は破壊風速です。

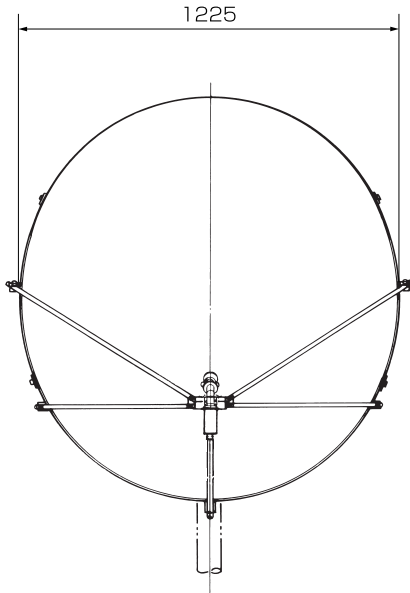
注2) 質量は給電部を含みません。

注3) 給電部の品番は4ページをご覧ください。

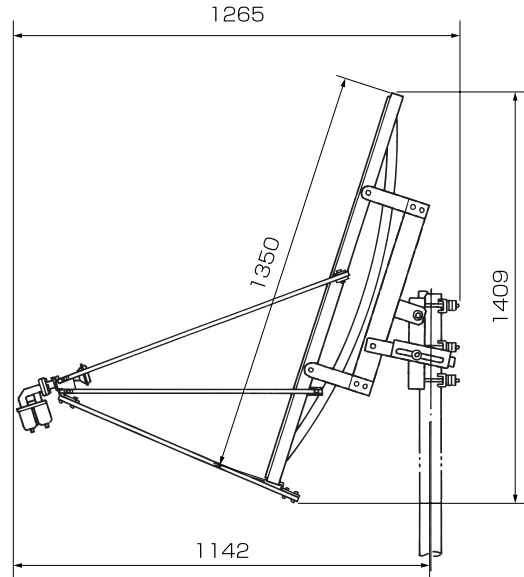
仕様は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

外形寸法図

正面



側面



寸法はアンテナ仰角40°ポール径φ114.3mmの場合の両偏波給電部使用時最外形寸法です。

(単位：mm)

〈ご注意〉

通信衛星を利用したCATV向番組を受信し伝送するにはCATV事業者としての有線テレビジョン放送の行政手続きが必要です。

※この製品を処分するときは、産業廃棄物として処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

・札幌支店 TEL.(011)822-1251(代)	・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)	・豊橋出張所 TEL.(0532)69-2370(代)	・広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
・東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	・新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)	・三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	・岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581(代)	・茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	・金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	・高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
・郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)	・千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	・富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	・松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
・東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	・静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	・大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	・福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
・東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	・浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	・堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	・北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
・東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)	・中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	・京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	・大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	・松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	・神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)	・熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
・横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)			・南九州営業所 TEL.(099)267-8211(代)
・埼玉支店 TEL.(048)652-3311(代)			・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

(2004年5月現在)

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代) 東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
 カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30~12:00/13:00~17:00(土曜・日曜・祝日および夏季休暇・年末年始は除く) ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>